

2027年卒

2月1日時点の就職意識調査〈速報〉

キャリタス就活 学生モニター2027 調査結果 (2026年2月発行)

2027年卒の学生の最新動向を知るべく、キャリタス就活・学生モニターを対象に、2月1日時点の状況を尋ねた。3月の解禁を前にした心情や活動の進捗など多岐にわたる項目を調査したが、速報版では取り急ぎ内定状況のみ紹介する。

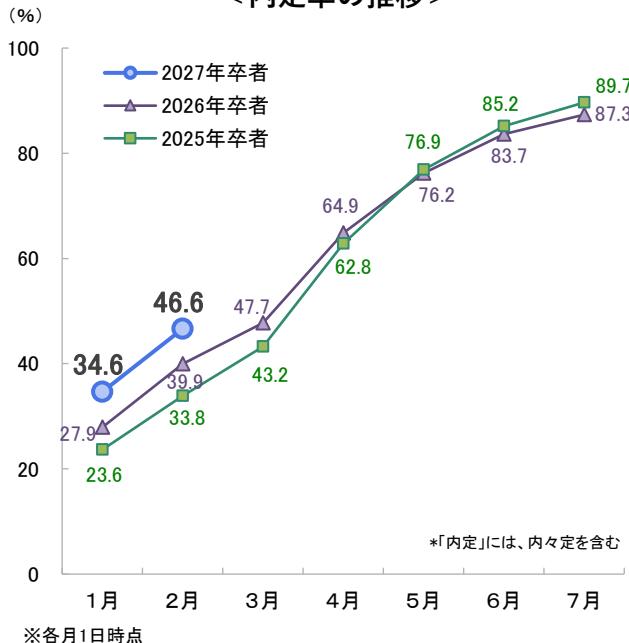
2月1日時点の内定状況

「内定を得た」と回答した学生は全体の46.6%。先月調査(34.6%、1月調査)からの1カ月間に12ポイント上昇し、4割を超えた。前年同期実績(39.9%)を6.7ポイント上回っており、早期化の進行が顕著に表れている。前年の3月調査の内定率(47.7%)に近い水準であることから、約1カ月前倒しで進んでいるとの見方もできる。

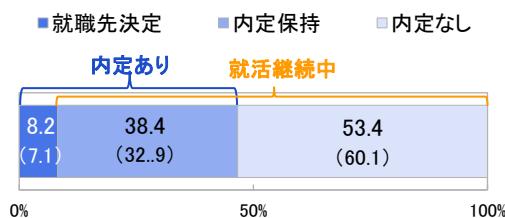
内定率は非常に高水準であるが、内定取得学生の多くは内定を保持しながら就職活動を継続している。調査時点で活動を終了した学生(就職先決定)はモニター全体の8.2%。

なお、内定取得者のうち、インターンシップ等のプログラムに参加した企業から内定を得たという学生は8割を超える(80.2%)。プログラムへの参加を経て早期選考に繋がり、内定獲得へと結びつくケースが多いことがうかがえる。

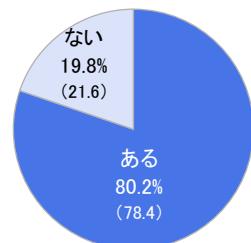
<内定率の推移>



<活動状況の分布>



<内定企業におけるインターンシップ等参加企業の有無>



※1日以内のプログラムも含む
※()内は前年同期調査の数値

調査概要

- 調査対象：2027年3月に卒業予定の大学3年生（理系は大学院修士課程1年生含む）
- 回答者数：1,000人（文系男子197人、文系女子446人、理系男子203人、理系女子154人）
- 調査方法：インターネット調査法
- 調査期間：2026年2月1日～5日
- サンプリング：キャリタス就活 学生モニター2027
- 調査実施：株式会社キャリタス／キャリタスリサーチ